

光南高校チアリーダー部全国大会出場決定！！

第20回全日本チアダンス選手権大会東北予選大会で優勝し、第20回全日本チアダンス選手権大会兼第18回全日本学生チアダンス選手権大会への出場を決めた光南高校チアリーダー部の加藤綺琳さん(3年)と大森菜央さん(3年)が来庁し、久保木村長より激励金が手渡されました。

村長からは、「若者の活躍はみんなの励みとなり、元気と勇気をいただき嬉しく思っております。自分達のためにも、村民の皆さんのためにも頑張ってください」と挨拶がありました。

同校チアリーダー部員は27名で、校内オーディションもあるため、大会に向けて日々練習に励んでいるとのことでした。

全国大会は12月27日(日)東京都で開催され、オンライン配信も予定されておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.jcda.jp/championship/2020/national/index.html>



左から大森さん、久保木村長、加藤さん

はっぴい ばあすでい Happy Birthday

今月1歳の誕生日



穂積 柊くん(字別所)



鈴木 一颯くん(字上町)

リレートーク

239

荒井好勝さん(字前屋敷)

現在私は、福島県野球連盟の審判員として活動をしています。

下は学童野球、上は古希野球と幅広いカテゴリーを担当しています。もちろん、社会人野球(硬式・軟式)や高校野球も担当します。

野球シーズンともなれば、土日ほぼほとんど、どこかの野球場かグラウンドで汗を流しながら審判活動をしています。

審判員としての一番の特権は、迫力のあるプレーをグラウンドにいる選手以外で、一番近くで見ることができる点ですね。

投球されたボールが空気を裂く音、バットとボールが接触する瞬間、選手の息づかい。これらを感じられるのも審判員としての醍醐味です。

当然、楽しい事ばかりではなく、苦しい判定に冷や汗をかくいたり、時にはベンチやスタンドからヤジを飛ばされることもあります。とにかく、とても充実した活動をしています。

今シーズンは、新型コロナウイルスの影響で大会自体が中止または縮小しての開催などと、とても寂しいシーズンでしたが、来シーズンはコロナに負けずグラウンドで思いっきりハッスルしたいと思います。

今シーズンは、新型コロナウイルスの影響で大会自体が中止または縮小しての開催などと、とても寂しいシーズンでしたが、来シーズンはコロナに負けずグラウンドで思いっきりハッスルしたいと思います。



次回、鈴石 楓さんにバトンタッチ！